

## 28

## 抗酸性菌就中喀痰よりする結核菌 染色の一新手技に就て

里見 三男 中富 富士雄

(大阪高等醫學専門學校微生物學教室)

余の教室に於ける超高波應用加油培養基を用ひてする結核菌の培養に就ては、曩に本誌に於て速報するところありたり。而して特に加油グリセリン・ピオン表面に圖板狀をなして發育し來る結核菌の檢出に當り、從來行はるるチール・ガベツト染色法を以てしては、油滴の存在下に於ける菌の染出容易にあらず。是に於て當該結核菌塗抹標本を固定するに石油エーテルを以てしたるに、極めて容易に優秀なる染色標本を手にし得ることを確め、茲に一般抗酸性菌就中患者喀痰よりする結核菌染出にエーテル固定を用うれば、敢てガベツト液を用ひて後染の要なく、極めて美麗なる染色標本を手にするをを追認せり。仍つて先づ之を速報し同時に染色手技の順序を記載し、諸氏の追試を希望するものなり。

### 喀痰中結核菌染出法

- 1 患者喀痰をデッキガラス面に平等に塗抹。
- 2 石油エーテル（局方エーテルを思ふるも可なり）をデッキガラス面に満載し、室溫に放置して自然蒸散を俟つ。之が所要時間約7分。
- 3 チール液を満載し火焰上加温し、液面より蒸氣發散を度として止め、チール液を傾けて捨つ。
- 4 次でデッキガラス面上にレフレル・メチレンブラウ液を満載し、1回染色後、液を傾注し、同一操作を2-3回反復し、標本面の青染を度として止む。
- 5 水洗、乾燥、鏡檢の順序を取る。

此の染色法によれば標本面上、結核菌は美麗紅色に染出し、細胞、爾餘各種の細菌は青染して其の形態を明かに認め得。

尙ほ此の染色法は喀痰以外の病的材料にして、苟くも從來チール・ガベツト染色法に附せられたものは、總て此のエーテル固定、チール・レフレル液複染色法に應用して可なるものとす。

(受附：昭和16年12月8日)

[醫學と生物學・第1卷・第2號・頁98・昭和17年1月20日]